

# 大俣小だより

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

# 2月号



## 学習発表会を終えて

立春が過ぎ、暦の上では春を迎えています。現実はまだまだ厳しい冬のまです。春の訪れを待ち望みつつ、寒さに対する備えをしっかりと行い、安全に過ごしたいものです。

さて、2月2日（日）には、保護者、来賓の皆様をお迎えして学習発表会を開催することができました。子どもたちは、この日のためにたくさんの準備を重ねてきました。劇や演奏、発表の一つ一つに、一人一人の努力とクラスの仲間との協力が感じられました。緊張しながらも精一杯取り組む姿は、とても輝いていました。

学習発表会は、ただ「見せる」だけの場ではありません。学ぶ楽しさを感じ、自分の思いや考えを表現し、仲間と共に成長する大切な機会です。今日の経験を通して、子どもたちは自信を深め、また新たな一歩を踏み出してくれることと思います。

今年度も、残りわずかとなりましたが、子どもたちの成長を共に見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 教育現場のAI活用

現代社会では、AIが様々な分野で活用されています。当然、教育現場にもAIが導入され、全国的に広がりつつあります。

当然、メリットもあればデメリットもありますが、近い将来、まずAIドリルは導入されことは間違いありません。また、その他の場面でも、AIが活用されることになるでしょう。

では、AIを効果的に活用するためには、何が必要なのでしょうか。

一つは、教師が教師がAIを使いこなせるようにすること。そして、児童のデジタルリテラシー（コンピュータやインターネットなどのデジタル技術を正しく理解し、効果的に活用する能力）を育てることです。

AI導入の際には、AIの利点や使用方法を説明させていただきますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

## ポジティブ行動支援（PBS） No.2

大俣小だより5月号で紹介したPBSについて、ご家庭でも取り組める具体的な方法を紹介します。

- 1 期待する行動を明確に伝える：子どもにどのような行動を期待しているかを具体的に説明する。
- 2 ポジティブなフィードバック：望ましい行動が見られた時に、すぐに褒めたり、感謝の言葉をかけたりする。
- 3 一貫性のある対応：ルールや期待する行動に対して一貫した対応を心がける。
- 4 問題行動の予防：問題行動が起こりにくい環境を整え、ストレスや疲れを減らす工夫をする。
- 5 代替行動の提案：問題行動の代わりに取るべき適切な行動を教え、練習させる。



これらの方法を通じて、子どもの自信と自己肯定感を高め、家庭内のポジティブな雰囲気を作り出すことができます。ぜひ、ご家庭でも取り組んでみてはいかがでしょうか。